

See The Apple Tree

ARの楽しみ方



Campaign Report

キャンペーンを開始した昨年11月22日以降、脱炭素社会の実現に向けて皆さんと一緒に考え、一歩を踏み出すきっかけづくりをしてきました。これまでの取り組みを紹介します。

01 脱炭素につながる行動(ワンアクション)を投稿してもらいました

脱炭素につながるワンアクションは、AR(拡張現実)や投稿フォームから多くの投稿が集まりました。ワンアクションをりんごの形の付箋に記入して大きなりんごの木のパネルに直接貼ることができる場所も、信毎メディアガーデン(松本市)、信濃毎日新聞長野本社(長野市)、県ゼロカーボン社会共創プラットフォーム「くらしふと信州」(同)の3カ所に設けました。



〈長野県PRキャラクター〉
アルクマ
信州をクマなく歩きまわり、信州の魅力を世の中にクマなく広めるのが生きがい。



〈映画監督(長野県出身)〉
やまなこようこ
山中瑤子さん
2024年「ナミビアの砂漠」で第77回カンヌ国際映画祭の国際映画批評家連盟賞を女性監督として最年少で受賞。

〈吉本興業所属・長野県住みます芸人〉

こてつ

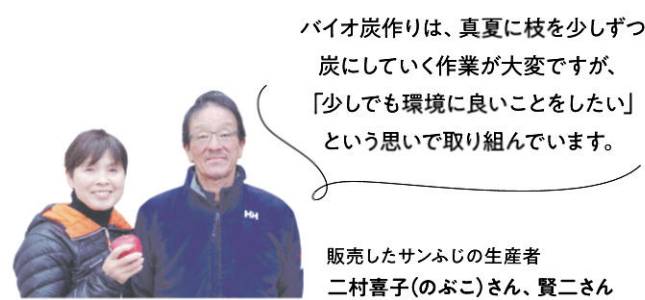
北村智さん(左) 河合武俊さん(右)



2006年にコンビ結成。
著書「長野のおきて〜ナガノを楽しむための51のおきて〜」では、長野のあるあるネタを紹介。

02 環境に配慮して栽培されたりんごを販売しました

温室効果ガスの排出を抑えた松本市梓川の園地で栽培されたサンふじを、信毎メディアガーデン(2024年12月15日)と、東京・銀座の「銀座NAGANO」(同18、19日)で計351個販売しました。今回販売したりんごを栽培した農園では、せん定した枝を炭にした「バイオ炭」をまくことで、二酸化炭素を地中に閉じ込めています。包装材もオリジナルの紙製ネットを使用し、プラスチック削減に取り組みました。



バイオ炭作りは、真夏に枝を少しずつ炭にしていく作業が大変ですが、「少しでも環境に良いことをしたい」という思いで取り組んでいます。

販売したサンふじの生産者
二村喜子(のぶこ)さん、賢二さん

03 アルクマ&うんこ先生と地球温暖化について考えました



「うんこドリル」シリーズの「うんこ先生」から地球温暖化について学ぶイベントを、1月18日にくらしふと信州で開き、親子連れなど約80人が参加しました。参加者はアルクマと一緒にうんこ先生が出すクイズに挑戦した後、りんごの形の付箋にワンアクションを書き、脱炭素社会に向けてできることを考えました。

私たちは、信州りんごを未来につなげるため、脱炭素社会の推進を応援しています。GO! ゼロカーボン!

この特集は1月31日(金)まで4日間掲載します